日野・生活者ネットワークニュース

2013年7月25日発行
No.115

●生活者ネットワークは、市民主体のまちづくりを実現するため、市民と議会、行政をつなぎます。市民の視点で、情報公開をすすめ、市民と共に、行政を変えていきます。

古池はつみの活動が携帯でも見られます ▶

●発行／日野・生活者ネットワーク
〒191-0032　日野市三沢1-26-9-Ⅰ-102　TEL：042(593)9433　FAX：042(593)9414
E-mail：hino-net@cap.ocn.ne.jp　URL：http://hino.seikatsusha.net/
●発行責任者／出沼恵美子

議会一般質問

災害が起きたあとの水の確保は？

日野・生活者ネットワーク市議会議員
古池（こいけ）はつみ

災害時の水の給配は市民との協働で進めよう

東日本大震災後、防災から減災への見直しが日野市でも進んでいます。想定に対して災害を防ぐのでなく、少しでも被害を減らす方法を講じることです、その時々に応じて判断し、避難、行動することが求められています。

今回、私たちは市内5ヵ所の給水所を調査し、災害時の市民への水の給水などについて質問しました。

〈主な質問内容〉

①災害時、水はどのようにして市民に配布されるのか
②給水所が遠い地域や避難所での給水について
③給水所の整備について
④災害時のトイレや洗濯に使う生活用水について

日野市内には、東京都直轄の事業である水道の給水所が5ヵ所（旭ヶ丘・多摩平・大坂上・三沢・程久保）あります。災害時はこの給水所で直接市民へ配水します。これまで、東京都の職員が水の検査・器具の設置を行い、市民への配水は日野市の職員の役割として年に一回程度の訓練を行ってきました。しかし、災害時すべての施設で実施できるかはわかりませんので、今後は市民との協働で訓練の実施をすすめるとの答弁がありました。

わかりにくい場所に給水所がある大坂上や程久保については、幹線道路からの誘導案内も含め、案内板の設置を要望しました。旭が丘のように、すでに給水場所がわかり易く改修されている施設もありますので、日野市は東京都に強く要望したいとのことでした。

三沢配水所に配置されている災害用給水キット

市民でも簡単に組み立てることができる

給水所に遠い地域への市民に対しては、消火栓を活用しての給水ができる器具が今年より3年間で33セット、都から市に貸与されますので、避難所も含め、給水場所が増えることになります。

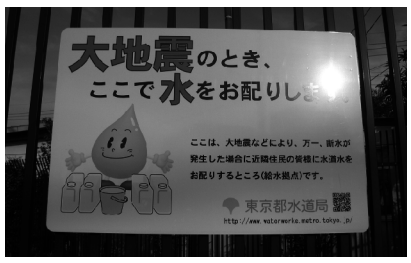
給水所5ヵ所の水は、満水で38,000㎥あります。「一人当りの必要量〈一日3ℓ〉を目安にすると十分な量がある」と市は考えています。しかし、常時、1／3の14,000㎥程度しか確保できないことから、この量ではトイレや洗濯用の生活用水までには及ばない為、井戸や農業用水、湧水の活用が見込まれています。

今後は市民への十分な情報提供と地域との連携ですすめるよう、強く求めました。また、市境の地域は隣接市の給水所が近い場合もありますので、隣接市の情報も防災マップに掲載するなどの情報提供を要望したところ、市からも前向きな答弁がありました。

皆さんも一度は歩いて、給水所の確認をしてみてはいかがでしょう。

旭が丘給水所

首都大学の向かいにあり、近くには幼稚園、保育園、中学校と、子供関連の施設が集まっている。



旭丘給水所の案内板

大きな文字で書かれ、目立つところに掲示されている。

その他に、**「市民による事業提案制度の導入」**について、質問しました。

大坪新市長のもと長期的な政策を進める「地域戦略室」が設置されます。高齢者対策や大規模工場跡地利用、用水を使ったエネルギー対策など、地域戦略を立てる段階から、市民との協働を踏まえて取り組むとのことですので、市民力が発揮できる仕組みを整えて欲しいと要望しました。

参議院議員選挙

大河原まさこさん 議席に届かず

参議院議員選挙が自民党の圧勝で終わりました。今後、衆議院へのチェック機能が働かず、数の論理で強引な国会運営が進むことを危惧します。

生活者ネットワークは東京選挙区の大河原まさこさん（無所属）を推薦し、全力で応援しましたが、残念な結果となりました。

今回選挙直前に民主党の公認を外され、やむなく無所属での立候補となりました。政党や有名人が対立候補である東京選挙区の中で、厳しい選挙戦でした。応援していただいた大勢の皆さまに感謝しています。

今後は東アジアの平和を脅かしかねないあべ安倍政権の右極化を阻止し、大河原さんの揚げた反原発・憲法改悪反対を市民の立場で地域から発信していきます。